

# 帳票OCR ファイルネーミング 簡単操作ガイド

帳票OCR ファイルネーミングは、複合機やスキャナーからスキャンした画像のファイル名を自動設定して保存します。ファイル名には「指定した箇所のOCR認識結果」、「日時」、「文字列」、「連番」、「QRコードの認識結果」が指定できます。この簡単操作ガイドでは「指定した箇所のOCR認識結果」を指定する操作方法をご説明します。

## ファイル名自動設定操作手順

### A: ファイル名となるOCR認識箇所の指定

はじめに、ファイル名となるOCR認識箇所を指定します。この指定したファイルをフォーマットファイルと呼びます。

### B: 一括認識の設定

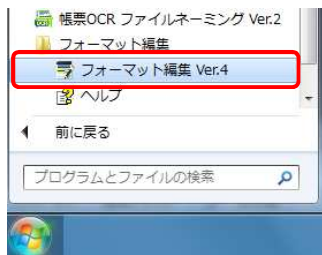
保存するファイル形式やファイル名、ファイル分割の条件を指定します。

### C: 一括認識実行

## 操作手順A: ファイル名となるOCR認識箇所の指定

### 1 フォーマット編集を起動する

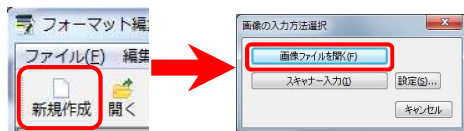
本ソフトウェアに付属している編集ソフト[フォーマット編集]を起動します。  
[スタート]-[すべてのプログラム]-[帳票OCR]-[フォーマット編集]-[フォーマット編集 Ver.4]をクリックします。



### 2 画像ファイルを読み込み

[新規作成]をクリックし、「画像の入力方法選択」ダイアログボックスの[画像ファイルを開く]をクリックして認識する帳票の画像を選択します。

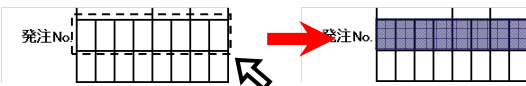
※画像データには、未記入の帳票をお使いください。



### 3 ファイル名に設定するOCR認識箇所を指定する

ファイル名に設定したい箇所の領域をマウスでドラッグして囲み、認識箇所を指定します。

※マウスで選択範囲を指定する際は、必ず罫線の外側を囲んでください。



#### 便利機能

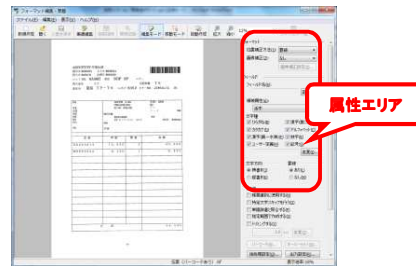
#### ■ダブルクリックで作成

1つの枠に1つのフィールドを作成する場合は、枠内をダブルクリックしてフィールドを作成できます。



### 4 OCR認識箇所の属性を設定する

属性エリアで、OCR認識箇所の属性を設定します。属性変更したい箇所をクリックし、属性エリアの設定値を変更します。



認識箇所の領域属性((活字/手書き/バーコード/QRコード/チェックマーク/オーバーライトチェックマーク/キーボード入力/活字または手書き)ごとに、文字種、文字方向、罫線の有無などの属性を設定します。

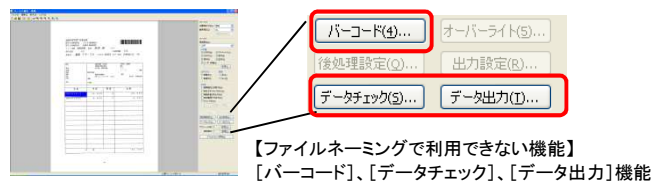
※その他の設定に関しましては、ヘルプをご参照ください。

#### ポイント

認識する文字に合わせて、「ひらがな」、「カタカナ」、「数字」などの文字種を設定することで、認識精度が向上します。

#### 注意

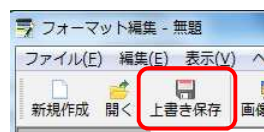
フォーマット編集は高精度OCRソフト「帳票OCR Ver.7」と共通のアプリケーションになります。下記の設定項目は「帳票OCR Ver.7」のみで利用する機能です。



必要な箇所すべてに、3、4の操作手順を繰り返して属性を設定します。

### 5 フォーマットファイルを保存する

[上書き保存]をクリックし、フォーマットファイルとして保存します。



⇒「操作手順B: 一括認識の設定」へ

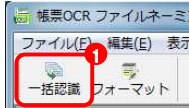
## 1 帳票OCR ファイルネーミングを起動する

[スタート]—[すべてのプログラム]—[帳票OCR]—[帳票OCRファイルネーミング Ver.2]をクリックします。

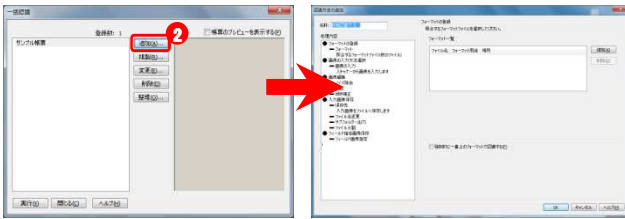
## 2 一括認識ダイアログボックスを表示する

スキャンした画像のファイル名の設定条件や保存先などを指定する画面を表示します。

①[一括認識]をクリックします。



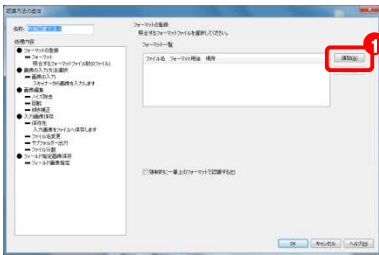
②「一括認識」ダイアログボックスが表示され、左側のリストボックスに現在の設定の名称が表示されます。新規の認識方法の処理内容を設定するには[追加]をクリックし、「認識方法の追加」ダイアログボックスで設定します。



## 3 フォーマットを選択する

操作手順Aで作成したフォーマットファイルを選択します。

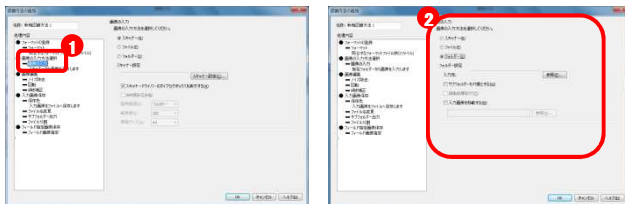
①「認識方法の変更」ダイアログボックスで、[追加]をクリックし、作成したフォーマットファイルを選択します。



## 4 画像の入力方法を選択する

ファイル名を設定する画像の入力方法を選択します。

①[処理内容]リストボックスから[画像の入力]をクリックします。



②画像の入力方法を選択します。

### 【スキャナー】

スキャナーから画像を入力します。

#### ■[スキャナー設定]ボタン

画像を読み込むときに使用するスキャナーを設定します。

- ・[スキャナー設定]ボタンをクリック
  - ・「ソースの選択」ダイアログボックスが表示されます。
  - ・[ソース]リストボックスから、使用するスキャナーのドライバーを選択
  - ・[選択]ボタンをクリック
- 使用するスキャナーが設定されます。

### 【ファイル】

指定した画像ファイルを入力します。[指定]—[画像ファイルを開く]で画像を選択すると、選択した画像のファイル名と保存場所がリストボックスに表示されます。

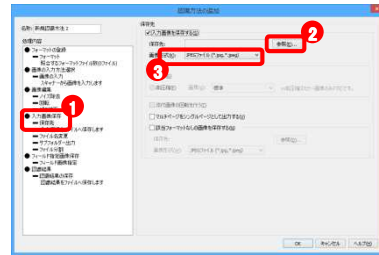
### 【フォルダー】

指定したフォルダー内に保存されている画像を読み込みます。

## 5 画像の保存先、ファイル形式を指定する

ファイル名を設定した画像の保存先やファイル形式を指定します。

①[処理内容]リストボックスから[画像保存]をクリックします。



②保存先を指定します。

- ・[参照]ボタンをクリック
  - ・「保存先フォルダーの設定」ダイアログボックスが表示されます。
  - ・フォルダーを選択し、[OK]ボタンをクリック
- 選択した保存先がテキストボックスに表示されます。

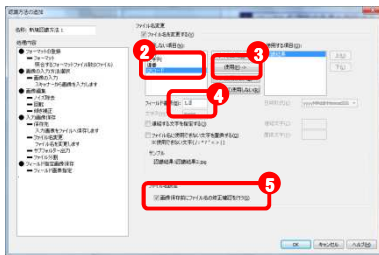
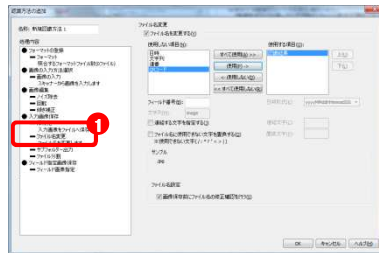
③保存する画像のファイル形式を選択します。

[画像形式]リストボックスで下記のファイル形式が選択できます。

- [添付画像を回転を行う]チェックボックスをオンにすると、添付画像が画像編集-[回転]の設定に従って回転します。

## 6 ファイル名設定の条件を指定する

① [処理内容]リストボックスの[ファイル名変更]をクリックします。



②ファイル名に使用する項目を下記の中から、1項目または複数項目選択して設定します。

### 【項目】

- [日時]: 現在の日時がファイル名として保存されます。
- [文字列]: 指定した任意の文字列がファイル名として保存されます。
- [連番]: 連番が自動で発番され、ファイル名として保存されます。
- [認識結果]: 認識結果をファイル名にして保存します。認識結果が表示されない場合は、ファイル名に「NoRecog(\*)」が付けられます。
- [QRコード]: 変更後のファイル名で保存されます。

③[使用]ボタンをクリック

④[認識結果]を設定した場合はファイル名に使用するフィールド番号を指定します。

### ポイント

複数の読取順序番号を入力する場合は、番号と番号の間を「, (カンマ)」で区切ります。記入した番号順に認識結果をファイル名にして保存します。

【例】[フィールド番号] 1, 3, 2

フィールド1: AAA

フィールド2: BBB

フィールド3: CCC

⇒ AAACCCBBB.pdf

※読取順序はフォーマット編集で確認できます。

※保存先フォルダーに同名の画像が保存されている場合、ファイル名に連番を付けて保存します。

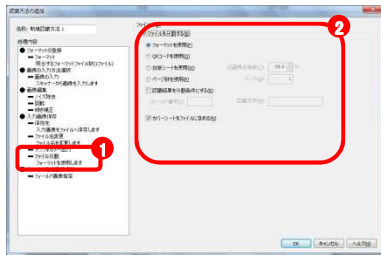
- [画像保存前にファイル名の修正確認を行う]チェックボックスをオンにすると、一括認識後にファイル名認識結果を確認するファイル名認識結果ウィンドウが表示します。ファイル名認識結果ウィンドウではファイル名を修正後に、画像ファイルの保存ができます。

## 操作手順B:一括認識の設定

### 7 ファイル分割の条件を指定する

※ファイル分割は複数ページの画像ファイルを自動で分割する機能です。

① [処理内容]リストボックスに[ファイル分割]をクリックします。



② [ファイルを分割する]チェックボックスをオンにして、分割条件を選択します。

#### 【フォーマットを使用】

フォーマットの一致によりファイルを分割します。

■ [認識結果を分割条件にする]チェックボックス  
チェックボックスをオンにすると、指定した[フィールド番号]の認識結果と指定した[認識文字]が一致した場合、ファイルを分割します。

■ [フィールド番号]テキストボックス  
分割条件にするフィールド番号を指定します。

■ [認識文字]テキストボックス  
分割条件にする認識文字を指定します。

#### 【QRコードを使用】

QRコード認識によりファイルを分割します。

■ [認識結果を分割条件にする]チェックボックス  
チェックボックスをオンにすると、QRコードの認識結果と指定した[認識文字]が一致した場合、ファイルを分割します。

■ [認識文字]テキストボックス  
分割条件にする認識文字を指定します。

#### 【白紙シートを使用】

白紙シートを認識して、ファイルを分割します。

■ [白画素占有率]テキストボックス  
白紙シートと判定するための[白画素占有率]を指定します。  
画像全体の何%以上が白色で占められているかを指定します。

#### 【ページ数を使用】

指定したページ数ごとにファイルを分割します。

■ [ページ]テキストボックス  
分割するページ数を指定します。

■ [カバーシートをファイルに含める] チェックボックスをオンにすると、ファイル分割の対象となるカバーページを先頭ページとしてファイルが作成されます。

### 8 「認識方法の追加」ダイアログボックスを閉じる

① [OK]ボックスをクリックします。



⇒次は一括認識を実行します。

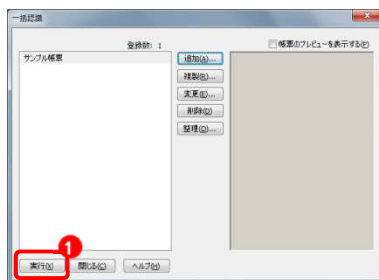
「操作手順C:一括認識の実行」へ

## 操作手順C:一括認識の実行

### 1 一括認識を実行する

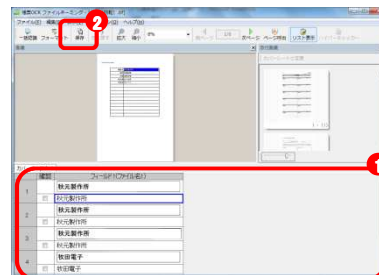
ファイル名自動設定、ファイル保存機能を実行します。

① [実行]ボックスをクリックします。



### 2 画像ファイルを保存する

操作手順B[6.ファイル名設定の条件を指定する]で⑤[画像保存前にファイル名の修正確認を行う]チェックボックスをオンにするとファイル名認識結果ウィンドウが表示されます。  
この画面では指定した箇所のOCR認識結果(ファイル名)を確認、修正できます。



①指定した箇所のOCR認識結果を確認、修正する。

【選択した文字を修正する場合】

- ・認識結果が表示されているフィールドをダブルクリック
- ・修正する文字へカーソルを移動させて編集

【すべての文字を編集する場合】

- ・認識結果が表示されているフィールドをクリック
- ・文字を入力

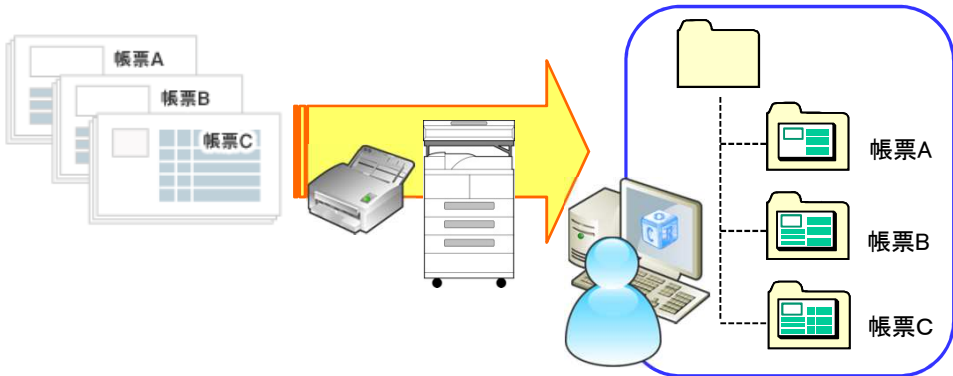
②[保存]ボタンをクリック  
画像ファイルが保存されます。

操作手順B[5.画像の保存先、ファイル形式を指定する]で指定しました保存先フォルダー、ファイル形式で保存がされます。

# オプション製品

## フォルダー振り分けオプション

スキャナや複合機でスキャンした画像をファイル名やフォーマットを利用して、指定フォルダーに自動で振り分けます。ドキュメント登録時の**仕分け作業を自動化**できます。



- 設定可能な振り分け条件**

  - 元のフォルダー構成
  - フォーマットごと
  - ファイル名からフォルダー作成
  - 指定した箇所のOCR認識結果

## フォルダー監視オプション

指定フォルダーを監視し、スキャンした画像がフォルダーに保存されると自動的に処理を開始します。

### ■ 価 格

品 名	帳票OCRファイルネーミング Ver.2		フォルダー振り分けオプション		フォルダー監視オプション	
	製 品	年間保守	製 品	年間保守	製 品	年間保守
品 番	MSL-AFL120900	SBD-SUP-PRE-MSL-AFL120900	MSL-AFL120911	SBD-SUP-PRE-MSL-AFL120911	MSL-AFL070320	SBD-SUP-PRE-MSL-AFL070320
希望小売価格	¥80,000(税抜)	¥12,000(税抜)	¥70,000(税抜)	¥10,500(税抜)	¥100,000(税抜)	¥15,000(税抜)

※ 掲載価格には消費税は含まれておりません。  
 ※ オプション製品を追加で購入された場合の保守期間は、「帳票OCRファイルネーミング Ver.2」の保守期間に準じます。

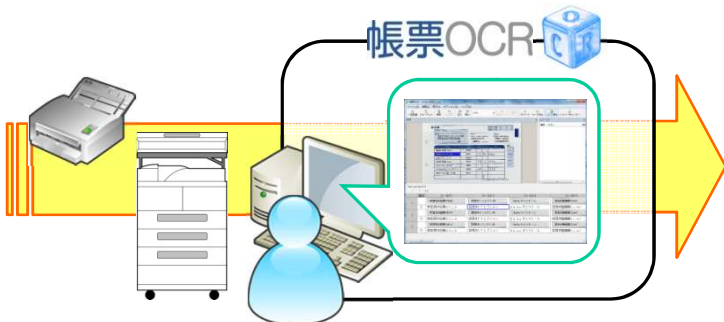
## 業務向けOCR+ファイルネーミング オールインワンパッケージ「帳票OCR Ver.7」

### 帳票OCR Ver.7 希望小売価格 ¥398,000(税抜)

活字や手書きの帳票のスキャン画像を編集可能な文字データに変換するソフトウェアです。日々大量に発生するオフィスの帳票入力作業を自動化し業務効率を大幅にアップできます。

#### 入力業務の生産性向上

- ・注文書
- ・納品書
- ・勤怠管理票
- ・テスト用紙
- ・アンケート用紙
- ・運転免許証
- ・自動車検査証など



- 各種システム**

  - ・受発注システム
  - ・仕入管理システム
  - ・勤怠管理システム
  - ・与信管理システム
  - ・問診票集計システム
  - ・申込書入力システム
  - ・テスト採点システム

■**無料体験版ダウンロード/30日間無料** <http://panasonic.biz/it/sol/ocr/form>

パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社